

血糖検査の高かった 大阪 太郎 様へ

こちらの面（おもて）をお読みください。
このリーフレットをかかりつけ医に持参してください。

3.5

案

今回の健診結果から**糖尿病がうたがわれます**。
このリーフレットを読み、かかりつけ医（内科）を受診し、うら面を見てもらってください。
受診する際には、健診の結果も持参しましょう。



糖尿病の疑いがあるかどうかは、血液検査で確認することができます。健診では、ヘモグロビンA1c（HbA1c）や血糖値（空腹時・随時）の値で判断しています。

1 ヘモグロビンA1c（HbA1c）とは？

ヘモグロビンA1c（HbA1c）の値は、採血前の1～2か月間の血糖値の平均的な状態を反映しています。血糖値とは違い、直前の食事の影響を受けることはありません。

糖尿病の疑いでかかりつけ医に相談する目安は **HbA1c 6.5%以上**です。

体温37℃台

HbA1c 7% だったら…

発熱しています

体温38℃台

HbA1c 8% だったら…

高熱です！！

体温40℃以上

HbA1c 10%以上 だったら…

肺炎で入院が必要かもしれない！



HbA1c 6.5%以上だったら…

風邪は引き始めが肝心、といえます。36.5℃くらいでも平熱より高い方が多いのではないのでしょうか。まだまだ大丈夫と思わないで早めに手を打ちましょう。

糖尿病の初期の段階では自覚症状がほとんどありません。自分は大丈夫だと思って放置せず

早期の対応がとても大切です。

体温に置き換えてイメージしてみましょう

（田中 清ほか プラクティス,P341,1998より改変）

2 糖尿病とは？

血液中のブドウ糖の濃度（血糖値）を調整してくれるインスリンというホルモンの量が不足したり、働きが低下したりすることで、血糖値が高い状態がつづく病気です。

糖尿病は気付かないうちに進行し、長い期間を経て合併症を発症します。近年、人工透析が導入される原因の約半数は糖尿病によるものです。

糖尿病の進行や、合併症を防ぐためには、病気をよく知り、医学的な健康管理を継続して行うことが大切です。

この面をかりつけ医（内科）の先生に見てもらいましょう。

診療のお願い

先生におかれましては、平素より地域の保健事業へのご協力を賜り誠にありがとうございます。

健診の結果、血糖高値をみとめましたので、ご高診のほどをよろしくお願い申し上げます。

受診勧奨基準

- **ヘモグロビンA1c（NGSP）6.5%以上**
かつ
- **未治療**

※ ヘモグロビンA1c（NGSP）を測定していない場合には
空腹時血糖値126 mg/dL以上または随時血糖値200 mg/dL以上の基準を用いています

健診の結果は、ご本人が持参されます。

ご多用中のところ、恐縮ではございますが、よろしくお願い申し上げます。

なお、本状と入れ違いに、診療を開始されている場合は
何卒ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

問い合わせ先

〇〇〇保健センター

担当：

住所：

電話：

FAX：